



彙報・奥付

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-09-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/2000292

【彙報】

国語探究研究会 記録(令和6年(2024)3月～令和6(2024)年8月)

第103回／3月6日(水)

- ・伊藤佑太(札幌第一高等学校)書いて、読んで、話す—コトバのドキドキ最前線！—

第104回／3月13日(水)

- ・濱田和幸(済美平成中等教育学校)『言語文化』の授業実践の振り返り

第105回／3月18日(月)

- ・納谷倅太朗(北海道中標津高等学校)高等学校国語科における生成系AIを用いた漢詩創作の実践—心理的安全性の視座から—
(輪読)・府川源一郎(横浜国立大学名誉教授)文章を作成するということ (『月刊国語教育研究』日本国語教育学会 令和6年1月)
- ・山下直(専修大学)「見えない学び」を捉えることの大切さ (『月刊国語教育研究』日本国語教育学会 令和6年1月)

第106回／3月27日(水)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)My Best 卒業 Song —世代を超えて、つながる国語学室・書くこと編—

第107回／4月3日(水)

- ・首藤久義(千葉大学名誉教授)ナンシー・アトウェルによる文学授業批判を英文原著で読む(1)

第108回／4月10日(水)

- ・首藤久義(千葉大学名誉教授)ナンシー・アトウェルによる文学授業批判を英文原著で読む(2)

第109回／4月13日(土) 国語を学ぶ会4月特別例会(第146回)と共催

- ・山際明利(国立苫小牧工業高等専門学校教授)定番教材談義 羅生門
- ・戸川貴之(北海道帯広柏葉高等学校)アイヌ民族の文学作品を言語文化・文学国語として扱う可能性
- ・長屋樹廣(北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程)小学校入門期の「読むこと」領域の実践—じんぶつスーパースター☆カードでしようかいしよう「たぬきの糸車」—

- 【講演】桑原隆(日本国語教育学会会長・筑波大学名誉教授)言語生活の変容と探究的言語活動 —試作単元:絶滅危惧種について考える—「蓑虫」

第110回／4月17日(水)

- ・寺西創(和歌山県立那賀高等学校)国語教育个体史 十年間を振り返る

第111回／4月24日(水)

- ・濱野天司郎(大阪府立水都国際高校学校)「自動詞としての問い」・〈探究〉とは何か—実践を通じた検討

第112回／5月1日(水)

- ・戸川貴之(北海道帯広柏葉高等学校)日本語でつながる！ オンライン国際交流

第113回／5月8日(水)

- ・荒牧剛志(熊本市立健軍小学校)子どもたちが『自分ごと』で考える説明的文章の学習指導～小学校5年生『和の文化を受けつぐ——和菓子をさぐる』実践をもとに～

第114回／5月15日(水)

- ・寺西創(和歌山県立那賀高等学校)「第三の書く」を用いた和歌の授業

第115回／5月22日(水)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)学級文庫リフォーム計画 ～ことばが自由に行き交う教室の片隅～

第116回／5月29日(水)

- ・石川諒介(北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程)

第117回／6月5日(水)

- ・柳谷直明(北海道教育大学、北海道教育大学附属札幌中学校) 主体的判断を取り込む批評的鑑賞文指導 ～『レモン哀歌』を用いて～

第118回／6月12日(水)

- ・生田あゆみ(工学院大学附属中学校・高等学校、知窓学舎) 読解と文法から解放された古典授業はどこへ向かうのか

第119回／6月19日(水)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校) 説明文を原作に自作のデジタル絵本をつくる探究的学習の実際 ―筆者の主張と事例の関係を読む「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」を使った実践事例を通して―

第120回／6月26日(水)

- ・首藤久義(千葉大学名誉教授) 読みの個性と創造性 その学習と支援 ―芦田恵之助とケネス・グッドマンに学ぶ―

第121回／7月3日(水)

- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校) 文学的文章の読書と読解についての一考察

第122回／7月10日(水)

- ・船津啓治(鹿児島県霧島市立牧之原小学校) 絵本『わくせいキャベジ動物図鑑』の教材化と可能性 ―子どもの想像力を刺激し、創造力を高める―

第123回／7月17日(水)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校) 卒業に向かい、主体的に経験と言葉を結びつける探究的学習の展開 ～单元「My best 卒業ソング」の実践を通して～

第124回／7月24日(水)

- ・田山地範幸(名古屋経済大学市邨中学校・高等学校)

第125回／7月30日(火)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)

第126回／8月3日(土) 国語を学ぶ会第150回記念例会と共催

【趣旨説明】

- ・佐野比呂己(北海道教育大学教授・釧路校) 文学的文章の読解

【基調講演】

- ・丹藤博文(愛知教育大学教授) 文学教材を読み深めるために ―「ごんぎつね」(新美南吉)を例に―

【話題提供】

- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校) 文学的文章の読書と読解の授業づくり ～精読と多読再考～
- ・弥田将人(北海道釧路湖陵高等学校) きっかけとしての文学の授業
- ・戸川貴之(北海道帯広柏葉高等学校) 生徒主体で行う文学国語「山月記」の授業 ～協働的から個別最適化された教室へ
- ・花坂歩(大分大学教授) もの語りと自己開示、共生について

第127回／8月7日(水)

- ・長澤元子(北海道函館西高等学校) 論理を働かせるためのリサーチ活動～鈴木孝夫の『相手依存の自己規定』を題材とした探究的リサーチ活動

第128回／8月14日(水)

- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校) 学習者が主体的に読みを創造する国語授業の在り方 ～『おむすびころりん』音読スーパースターへの道』の実践を通して～

第129回／8月21日(水)

・宮内悠子(鹿児島大学大学院／西之表市立種子島中学校)地域の素材を生かした国語科授業の創造

第130回／8月28日(水)

・岡田陽子(西武学園文理高等学校)伊勢物語で小説を書く 翻作して読む古典

学術雑誌『国語探究』について

- 1 オンライン雑誌とする。
- 2 A4版横書き1段を様式とし、国語探究研究会指定の様式にしたがって、執筆する。
- 3 投稿受付は事務局とし、投稿〆切は毎年2月末日(3月15日発行)、8月末日(9月15日発行)とする。

国語探究研究会 役員(令和6-7年度)

顧問	首藤久義(千葉大学名誉教授)	小久保美子(元新潟大学理事・副学長)
	村上呂里(琉球大学教授)	小原俊(文部科学省)
会長	佐野比呂己(北海道教育大学釧路校)	
副会長	菅原利晃(北海道教育大学札幌校)	本橋幸康(埼玉大学) 花坂歩(大分大学)
理事長	佐野比呂己(北海道教育大学釧路校)	
常任理事	戸川貴之(北海道帯広柏葉高等学校)	井口裕太(北海道伊達開来高等学校)
	長屋樹廣(釧路市立中央小学校)	高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)
	椿山美紀(川崎市立西生田中学校)	
理事	加納敏隆(北海道利尻高等学校)	佐野理美(北海道厚岸翔洋高等学校)
	納谷倅太朗(北海道中標津高等学校)	福田環(北海道釧路北陽高等学校)
	宮本真哉(北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程)	

国語探究

第5号

令和6年(2024)9月15日 発行

国語探究研究会

〒085-8580北海道釧路市城山1丁目15番55号

北海道教育大学釧路校国語科教育第1研究室

TEL/FAX0154-44-3305 (D・I)

e-mail:sano163@gmail.com

URL:<https://sano163.blogspot.com/>